

4号機 第8回定期点検における配管等の肉厚点検結果について

平成 16 年 12 月 21 日

浜岡原子力発電所では、配管等の健全性確認の一つとして、減肉管理手引に基づき、エルボ部(曲がり部)、オリフィス部(しぼり部)等の肉厚点検を実施しております。

第8回定期点検(平成16年9月29日～)において、415箇所の肉厚点検(1)を実施しました。

点検の結果、技術基準で定められた必要最小肉厚を全て上回っていることを確認しました。

このうち、低圧第1給水加熱器のベント配管(2)エルボ部については、余寿命の短いもの(3)が確認されました。これらについては次回定期点検まで必要最小肉厚を下回らずに運転可能な肉厚を有していますが、予防保全として当該エルボ部3箇所の取替を実施することとしました。取替工事は本日完了する予定です。

切り出した当該部の内表面を確認した結果、エロージョン(侵食)(4)により減肉したものと分かりました。

- 1 本点検は、電気事業法で定める定期事業者検査として、当社が実施したものです。肉厚は超音波厚み計等を用いて測定します。
- 2 原子炉への給水を加熱する装置(給水加熱器)にたまった気体を復水器に導くための配管です。当該箇所の点検は、他の原子力発電所の事例反映として行ったものです。
- 3 余寿命は必要最小肉厚に至るまでの運転年数です。
- 4 水分を含んだ蒸気(湿り蒸気)等の流体が高速で流れる際に、配管内面を機械的に削り取る現象です。

以 上

概略系統図

